

日本史(11) 律令国家への道②「白鳳文化」

○今回のポイント

律令国家建設期の文化は「清新さ」と「初唐文化の影響」が特徴の白鳳文化。

(1)白鳳文化

- ①時期；飛鳥文化に続く[1. 7世紀後半 ~ 8世紀初頭]ころ。
- ②[2. 天武・持統天皇]の時代を中心とする、律令国家が形成される時期の生氣ある若々しい文化。
- ③唐初期の文化の影響を受け、[3. 仏教文化]を基調としている。

(2)国家的な仏教 ~仏教興隆を国家的なレベルで推進~

飛鳥文化期の仏教	白鳳文化期の仏教
有力な豪族や王族を中心に定着	国家事業として寺院を造営

①[4. 大官大寺]

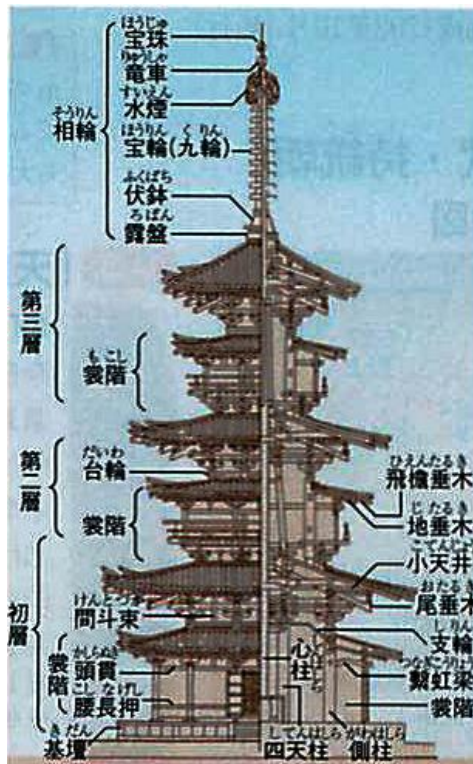
・天武天皇が創建。舒明天皇の創建と伝えられる百濟大寺が起源。移転して高市大寺となり、大官大寺と改称。

▶大官大寺復元模型 天武天皇が創建した大官大寺は、舒明天皇勅願の百濟大寺を移転して建立した高市大寺を改称したもので、白鳳期には官寺の筆頭であった。平城京遷都にともなって再び移転され、745(天平17)年には大安寺となった。



②[5. 薬師寺]

- ・天武天皇が皇后の病氣平癒を祈り創建。白鳳美術の宝庫である。
- ・東塔は三層の塔であるが[6. 裳階]をつけることで、六層にみえるとともに、構成の美を実現している。



▶薬師寺東塔 薬師寺東塔は、平城京に移転された当時から現存する唯一の建築物である。730(天平2)年の建立とされるが、白鳳期の建築様式をよく伝えている。三重塔であるが、各層に裳階という建物を保護するための庇がつけられているため六重にみえる。屋根の軒と裳階とが交互に重なる塔のリズミカルな美しさを、明治時代に来日したアメリカの美術研究家フェノロサ(→p.243)は「凍れる音楽」と評した。西塔は近年の再建である。高34.1m 国宝



③彫刻

7. 法隆寺阿弥陀三尊像



8. 法隆寺  
夢違観音像



9. 興福寺  
仏頭



10. 薬師寺東院堂聖観音像

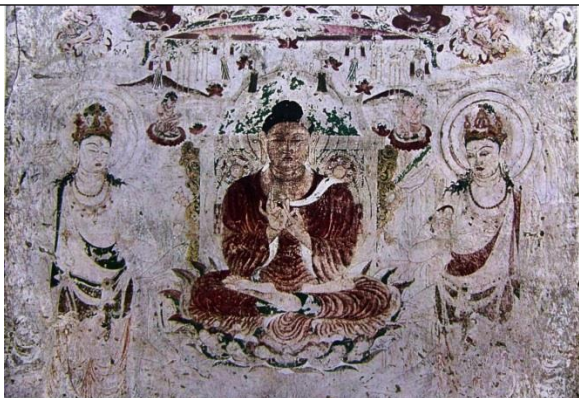


11. 薬師寺金堂薬師三尊像



④絵画

12. 法隆寺金堂壁画



13. 高松塚古墳



⑤文学

- ・豪族たち、中国的教養を受容して[14. 漢詩文]を作るようになる。
- ・[15. 和歌]の形式が整う。
- ・地方豪族にも[16. 漢字文化]と[17. 儒教]思想の受容が進む。